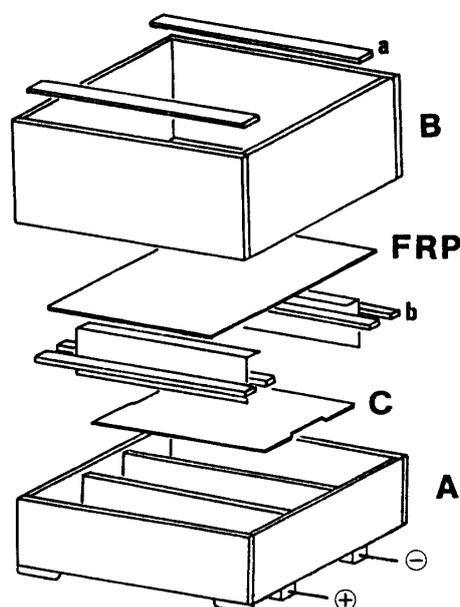


Title	簡便な電気泳動装置を用いたタンパクの等電点電気泳動法
Sub Title	
Author	西沢, 秀幸(Nishizawa, Hideyuki) 村上, 文子( Murakami, Ayako) 林, 直子( Hayashi, Naoko) 阿部, 芳廣( Abe, Yoshihiro)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1984
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.29 (1984. ) ,p.119- 119
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学会講演要旨
Genre	Technical Report
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000029-0130">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000029-0130</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



The Setup of the Apparatus  
a and b: rubber magnets

## 簡便な電気泳動装置を用いたタンパクの等電点電気泳動法

西沢秀幸, 村上文子, 林 直子, 阿部芳廣

〔日本薬学会 第 104 年会 (1984年 3 月, 仙台) で発表〕

〔目的〕 前報の電気泳動システムの有用性——等電点電気泳動法への応用——を示す。

〔実験〕 純水中に浸して保存しておいた FRP ゲルフィルム (15 mm×90 mm×0.5 mm) に両性担体 (pH 3—10, 10  $\mu$ l, pH 4—6.5, 15  $\mu$ l) を塗布し, 試料をのせて陽極に 1/100 M イミノジ酢酸・陰極に 1/10 M エチレンジアミンを用いて 1200 V で 1 時間電気泳動した。泳動中に多量の熱が発生するため, 冷却槽に氷水を満たし充分冷却した。泳動終了後のゲルフィルムは 12% トリクロル酢酸-メタノール溶液で 3 分間タンパクの固定および両性担体の除去を行ったのち, 0.2% ブロムフェノールブルー溶液で 5 分間染色し, 5% 酢酸溶液中で脱色後風乾して保存した。

〔結果・考察〕 従来の薄層ゲルと比べ, 支持体があるため機械的に丈夫であると同時に寸法安定性が良いため, 泳動像の比較が容易であった。一時に多数枚作成して水中に保存しておくことができるためゲル作成の手間が省けた。また, 装置が非常に簡単で安価なため 1 台の電源を使用して一度に数多くの泳動が行え, 両性担体の使用量も少ないので, 時間・費用ともに節約することができた。1200 V で 1 時間泳動したゲルの pH 勾配には直線性が認められた。卵白・牛血清においてほぼ文献どおりの泳動像が得られ, 本電気泳動システムの有用性が示された。等電点電気泳動と SDS 電気泳動による二次元電気泳動法についても現在検討中であり, 同時に報告する予定である。